

9本
400字×1793
33回 8分

~~筑摩書房~~

↓ 471
読者に
↑ 120
↑ 474
14471

「恐ろしい本」あじかき屋蔵

この本は長い五つの文章と短い五つの文章から出来ています。和めはどれでも同じ長さにしようと思つてとりかかつたのですが、書いていくうちにこうなつてしまいました。

筑摩書房の人たちと相談してこの本にはアウジヴツと原爆のことを入れることにしました。こやうはおかなくてはならないことなす。そやうが起きた前と後では人間にたいする考之方を變へなくてはならないと考へられるほどです。

ツについてはたくさん本のありますが、私はヴゼルベールの夜村ヨシムラ上光彦カミヒコの日記ニヒをみず書房刊がみなさんにわかリやすく書いた文学だと思ひます。

ダイジストを依りました。そやがある。